



SDGs による地域経済の活性化や発展は
一人ひとりの生活への取組が基盤となります

富士ゴム工業株式会社

太田市



代表者：漆畑兼久
設立年月日：1965年12月24日
資本金：4,500万円
従業員数：185人

住所：太田市脇屋町997-12
TEL：0276-33-0021
Mail：fg@fuji-gomu.co.jp
URL：http://fuji-gomu.co.jp



WEB サイト

● 事業者紹介

設計開発～製造～物流の一貫した生産体制を有する、ゴム・樹脂の自動車部品専門メーカーです。㈱SUBARUの協力工場として、1965年に設立。社は「企業を私とせず、企業は人なり」のもと、「共育」を原点とした人財育成に取組み、信頼関係に根差した健康経営の高度化と開発型提案企業を目指しています。



● 経緯・背景

ゴム事業、用品事業、ASSY事業、樹脂事業の4事業の運営において、「経済的」「社会的」「環境的」側面に広く関わる課題に取り組み、当社の存在価値を増強し、創造することを目的としています。



● 具体的な取組や成果

地域交流会主催の清掃や催事の運営・活動で地域社会に貢献 災害発生時は避難場所として、地域に密着した企業活動を行います

【具体的な取組】

- 従業員の定期的な健康診断実施
- 適切な能力開発、教育訓練の提供
- 紙から新素材（石灰石）の活用への移行により、森林と水資源を保護
- 太陽光発電による電気エネルギーの自社生産と自社消費、および売電
- 全社LED化の推進による自社エネルギー消費の削減
- SDGs達成のため主要得意先と資源・専門的知見・技術革新を補完
- 地域の清掃や催事の運営・参加による、地域社会貢献
- 製品の試作・生産工程で発生する廃棄物の削減
- 災害、事故などの発生に伴う、事業中断を想定した「BCP」

を策定

- 災害発生時には避難場所として市に協力

【成果】

- 全社で健康診断を実施。あきるの病院によるバス健診および人間ドックの受診とフォロー
- TPM教育、KY教育、5分間勉強会の実施
- 売電実績は毎年約400万円
- ㈱SUBARUとの共同開発、および共同発明特許出願承認
- 毎年、スバル地域交流会主催の金山清掃、ふれあいコンサート、花配布の運営と活動に参加
- 廃棄物の削減は、56期実績37.8%削減（対第54期）
- BCPを作成し、BCPの内容に基づいた訓練を実施



太陽光発電を設置 太陽光発電実績 本社工場：10万kWh/年、第二工場：25万kWh/年



毎年開催のスバル地域交流会「ふれあいコンサート」の企画・運営

当社にとってのSDGsビジョン

一人ひとりの取り組み方が 企業や地域経済を活性化する

SDGsへの取組は、従業員一人ひとりの生活への取り組み方が基盤であり、その取り組み方が働き方に表れ、会社の経営体質をつくり、経営実績に繋がっていきます。これらがステークホルダーとの信頼関係の強化に繋がるとともに、地域経済の活性化と発展に寄与し、国や世界経済への貢献に繋がるとを望みます。

今後の展望と求めるパートナー像

SUBARUとの連携を深め 地域社会の発展に貢献

SUBARU車の「安心と楽しさ」「死亡交通事故ゼロ」を目指し、㈱SUBARUと連携を深め、地域活性化・地域経済の発展・安心安全な社会づくりに貢献していきます。